

えがお

発行日/2014.12.1

No.106

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

〒820-0205 嘉麻市岩崎 1143 番地 3 稲築住民センター内

TEL.0948-42-0751 <http://kama.syakyo.com>

FAX.0948-83-8005 <mailto:info@kama.syakyo.com>

<https://www.facebook.com/kama.swc>



子育て情報紙

『こども目線♡がまっぴ♡』

最終号となる20号を発行



稲築中学校のPTAは、数年前から花植えなどの環境美化活動に力を入れています。今年はその一環として、10月31日(金)に、PTAと2年生100名が地域のゴミ拾いを行いました。

グラウンドに集まった生徒のみなさんは、PTAの役員の方から説明を受けたのち、8つの班に分かれて、山野運動公園や稲築スポーツプラザなどの公共施設までの道路や周辺に落ちていたゴミを拾って回りました。



ボールなど様々なものが捨てられていて、皆さんは一つひとつを火ばさみで取っては、持ってきたゴミ袋の中へ入れていきました。

1時間程度の活動を終えて、学校に戻ってくる生徒の皆さんの袋の中には、たくさんゴミが入っていました。中にはプリンタを重そうに抱えながら帰ってくる生徒もいて、「もっときれいにせないかね」と生徒同士で話している姿も見られました。

今回の活動で集められたゴミのうち、アルミ缶については、中をきれいに洗って、本会に寄付していただきました。

ボクが「障害」から学んできたこと

10月28日(火)、NPO法人ちくほろ共学舎「虫の家」事務局長の高石伸人さんを講師に研修会を行いました。当初は本会の障がい児日中一時支援事業のスタッフ研修会として企画していましたが、共に学びたいという思いから、保護者、社会福祉施設の職員などにも案内し、14名が参加しました。

ある「ボクが『障害』から学んできたこと」というところでは、病気や障害によってその人は他人にない何かを「もっている」という視点が必要で、何かが欠けているのではなく何かをもたらししているのだという話をされました。

高石さんのお話を伺い、障がいをもつ方と関わるうえで大切な視点を皆で共有することができました。参加者からは、「全ての言葉がすくとんと心に入ってきた」「子どもとの今後の関わり方を気付かされた」等の感想も聞かれ、貴重な時間となりました。

まず高石さんは、障害はマイナスだととらえてしまっているが、その偏見を自然に持っているいつもの自分を横において、ニュートラルな視点を持つことが大事だということと話されました。そして、人と新しく出会う時、「障害者のAさん」という風に条件等に目を向けて出会うのではなく、まず「Aさん」と自然に出会うことが一番だという話があり、私たち地域のみなさんと関わるうえで忘れてはいけない大切なことだと改めて思いました。



また、研修会のテーマである「ボクが『障害』から学んできたこと」というところでは、病気や障害によってその人は他人にない何かを「もっている」という視点が必要で、何かが欠けているのではなく何かをもたらししているのだという話をされました。

成年後見制度

Q. 成年後見制度を利用すると戸籍に記載されるのですか？

A. 『成年後見制度』前の『禁治産・準禁治産宣告制度』では、禁治産・準禁治産宣告が確定すると、そのことが公告されて、戸籍にも記載されていました。

しかし、平成12年4月に改正された、『後見登記等に関する法律』に基づいて、後見人の権限などを登記することになりました。判断能力が不十分である人を公示する方式として、東京法務局で『後見等の登記』が行われ、戸籍への記載はなくなりました。

なお、本人や成年後見人などから請求があれば登記事項証明書が発行されます。

山田・嘉穂地区サロンのご紹介

山田地区の4サロンと嘉穂地区の2サロンを紹介します。

みなさんとおしゃべりしたり
健康を考えたりして楽しく活動しています。



山田中央集会所
第4木曜日

山田中央サロラデ会

楽しいおしゃべりと、おいしい食事で
和気あいあいと活動しています。



神幸友愛サロン

神幸集会所
第1火曜日

子どもから大人まで
幅広く交流し、おしゃべりや健康体操などの
活動を通して親睦をはかっています。



上山田住民ホール
月1回土曜日、出前講座をする
場合は木曜日か金曜日開催

天神むつみ会

木城サロン

木城集会所
第3木曜日



体を動かすミニ運動
会をしたり、おいしい料理を食べたりと、
楽しい活動をしています。

ゲーの会
(中益)

具嶋公民館
月1回不定期水曜日



9月から始まりました。
おいしい食事やおしゃべりで
元気に活動しています。

足白サロン ピーチク・パーク



みんなで
集まり、自由に楽しく
おしゃべりしています。
11月は、毎年恒例のしめ縄づくり
をしています。

足白公民館
月1回第3木曜日

参加のご希望や新規設置の相談は、下記までご連絡ください

お問い合わせ先 嘉麻市社会福祉協議会 ☎0948-42-0751

相談援助の基礎を学びました

心配ごと相談員研修会



嘉麻市社会福祉協議会では、毎月第2・第4水曜日に稲築住民センターで心配ごと相談を開設しています。本会会長が委嘱した10名の相談員（民生委員児童委員や人権擁護委員、行政相談員）が、市民の皆さんからの日常生活上の困りごとや悩みごとに関する相談を受け、解決に向けた助言や情報提供などを行っています。

10月24日（金）に、相談員の皆さんを対象とした研修会を開催しました。講師には飯塚市のグループホーム・ケアホーム「ぼくらの家」施設長の山本真理子さんを招いて、相談援助の基礎を学びました。

まず相談を受けるにあたって、自分の価値観を理解すること、相談者の言葉の裏にある感情をつかむことなど相談支援者に求められる基本的な姿勢について、事例を交えて、わかりやすく説明されました。

また、例えばAさんは、認知症を患っているとしても、マイナスの部分に目を向けるのではなく、「昔のことはよく覚えている」「字を書ける」「優しさがある」というように、その人の強み（ストレングス）に着目して、支援することの大切さも学びました。

講義の後半では、傾聴や受容、支持など、相談者との信頼関係を築くための技法が紹介され、実際に二人一組になって体験しました。

相談員の方からは、「今回学んだことを今後の相談に生かしていきたい」との声も聞かれ、相談援助者に求められる姿勢について理解を深めることができました。



となど相談支援者に求められる基本的な姿勢について、事例を交えて、わかりやすく説明されました。

寄ってこハウスでゆずジャム作り

おしゃべりサロン

10月27日のおしゃべりサロンは、鶴島夕子さんを講師に迎えました。鶴島さんは、東日本大震災をきっかけに、東京から田川郡赤村に引越され、米や野菜づくりなど小さな農業をしながら、自然に学び自然と暮らす生活をされています。また、自他尊重のコミュニケーションを伝えるアサーティブトレーナーとしても活躍されていて、子育ての話や食の大切さなどについて伺いました。参加者の方から、「子どもといると息が詰まりそうになることがある」という話があり、子育て中の感情のコントロールについて、鶴島さんは、やさしくアドバイスをされていました。

その後は、松岡直幹なおきさんから提供いただいた無農薬の柚子でジャムを作り、子ども達は「パステルアート」をして紙に模様を描いて遊びました。パステルアートは、パステルを粉末にして指を使って描くので簡単に出来るアートです。子ども達は、一枚出来上がると「ママ、見て見て！」と嬉しそうにしていました。

ゆずの良い香りと子ども達の笑顔に癒された時間でした。



たくさんの温かい気持ちを ありがとうございます



本会会長が31kgものリングプルを受け取りました。

10月26日（日）に行われた嘉麻市一夜城祭りの贈呈式で、今年も、福岡県立嘉穂総合高校嘉麻市立大隈城山校から、リングプルと文化祭バザーの収益金を寄附していただきました。

同校では、生徒会のみなさんが中心となって、リングプルやペットボトルキャップの収集活動を行っています。贈呈式では、生徒会長の池田聡志さとしさんから、「いつもお世話になっている嘉麻市に少しでも恩返しをしたいと思っています」と挨拶がありました。

毎年たくさんのご協力をありがとうございます。この寄附は子育てを支える事業や福祉活動に活用させていただきます。

今月の えがお

最近えがおに
なった出来事を
教えてください!



やちよ
中村 八千代さん

デイサービスの友達とおしゃべりをしたり、カラオケで、昔懐かしい思い出の曲を歌っている時が、とても楽しいです。懐メロをデイサービスの友達の前で歌うと、みんなもいっしょに口ずさんでくれて、自然と笑顔になります。

ご案内

★在宅介護者の集い★

在宅で介護をされている方々が、いろいろな情報交換をし、楽しくリフレッシュしています。

12月11日(木)

寄ってこハウスにて

(漆生878番地)

1月15日(木)

山田ふれあいハウスにて

(上山田502番地6)

※時間はいずれも13時～15時までです。

★ひきこもり家族の集い★

ひきこもりの家族を持たれている方々と、いろいろな悩みを話したり、情報交換をしています。

12月25日(木)

13時～15時

1月29日(木)

※ひきこもり家族の集いの場所は、寄ってこハウスです。

日時等が変更になることもありまので、事前にご連絡いただければ幸いです。

みなさんの力をお貸しください

地域支えあい事業 協力会員募集



地域支えあい事業では、高齢の方、障がいをもつなどの日常生活のちょっとした困りごとを、協力会員として登録いただいた市民の方の協力で解決し、「困った時はお互い様」の関係づくりを広げています。

この事業の趣旨を理解し、お互い様という気持ちで活動してくださる方を募集しています。草取りや掃除、話し相手等、「できること」で支えあいの輪にご参加ください。

活動を希望される方、関心のある方はお気軽にご連絡ください。お待ちしております。

山田ふれあいハウス からのお知らせ

山田ふれあいハウスは、年末年始の期間、以下の通り休館いたします。
平成26年12月28日(日)から
平成27年1月4日(日)まで

【お申し込み・お問い合わせ先】



嘉麻市社会福祉協議会 ☎ 0948-42-0751
Email : tiiki@kama.syakyo.com

「読めば答えが見つかるかも」

社協だよりクイズ

「広報紙えがお」を読んで、次のクイズにお答えください。正解者の中から抽選で2名の方に、図書券(千円分)をプレゼントいたします。

問題

研修会「ボクが『障がい』から学んできたこと」は、当初何の研修として企画していただでしょうか?

- (1) 障がい児日中一時支援事業スタッフ
- (2) 本会職員
- (3) 地域支えあい事業協力会員

応募方法 ①クイズの答え、②広報紙の感想、③郵便番号・住所、④氏名、⑤年齢、⑥電話番号をご記入の上、12月31日(必着)までにハガキ、またはEメールにて応募ください。

送付先 〒820-0205

嘉麻市岩崎1143番地3

嘉麻市社会福祉協議会

E-mail: tiiki@kama.syakyo.com

前号のクイズの答え (2)

HUGとは、H(避難所)U(運営)G(ゲーム)の頭文字でした。

応募のあった方から社協だよりの感想をいただきましたので、紹介します。

・廃校になった大隈小学校をスゴクいい形で使っていることが嬉しいです。ね♪
・もっと沢山の人が集まって楽しめる企画を待っています。
・ためになることばかり教えてください。なので、本当に助かります。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

碓井小学校で福祉教育

11月5日(水)、碓井小学校の4年生は、ゲストティーチャーを迎えて福祉について学習しました。ゲストティーチャーの長尾俊臣^{としおみ}さん(新山野在住)は視覚障がい(弱視)を持ち、針、灸、マッサージをされています。

まず、身体障がいについて、目の不自由な人は「情報の障がい」であり、手や足などが不自由な「運動の障がい」とは種類が違うことを説明されました。また、目の不自由な人が歩く方法について、盲導犬やガイドヘルパーによる歩行があり、どちらも、連れて行くのではなく、「一緒に、共に歩く」ということを強調されました。

それから、児童のみなさんは二人一組で交互にアイマスクとガイドヘルパーの体験をしました。その時に、長尾さんからは、①ガイドをする人は声をかけながら歩きましょう②アイマスクをつける人はガイドしてく

れる友達を信じましょう③二人とも、楽しく、会話をしながら歩きましょうという三つの注意事項が伝えられました。

体験をした児童からは、「階段の手すりが途中で切れていて怖かった」という発表もあり、普段の生活でもそういったところに気付いてもらえるよう、今日の学習が今後につながればいいなと感じました。

最後に長尾さんは、「これだけは知っておいてほしい。不自由と不幸は違う。自分は不自由と思ったことはあるけど不幸と思ったことはない。障がいがあるからといってかわいそうだと思わないでほしい」と、話され、児童のみなさんも真剣に聞いていました。今後も、みなさんと福祉への関心を高めていきたいと思っています。



児童のみなさんが書かれた感想文の中から一部を紹介します。

＊長尾さんの話を聞いて、もう導犬は、人をゆうどうするのではなくいっしょに歩く、不自由と不幸はちがうということやいろいろなことがわかりました。***

＊長尾さんは、「目の不自由な人は、ふべんな時もあるけど、楽しいこともたくさんあるんだよ」と教えてくれました。また、「イオンによく行くから、見かけたら声をかけてね」と言っていました。だから今度会った時は声をかけたいと思いました。***

ボランティア募集情報

もちつきのお手伝い

ほのぼのサークルはぐるま

もちつきのお手伝いをしてくださる方を募集しています。

日 時 平成27年1月11日(日)
10時～14時

場 所 嘉麻北日中一時支援事業所
(嘉麻市鴨生339)

内 容 もちつきのお手伝い

募集締切 平成26年12月26日(金)

クリスマス会・もちつき大会

通所介護 うすいの里

クリスマス会ともちつき大会において、スタッフのサポートをしてくださる方を募集しています。

日 時 ①クリスマス会 12月17日(水)14時～15時
②もちつき大会 12月27日(土)9時30分～12時

場 所 通所介護 うすいの里(嘉麻市下臼井1055)

内 容 利用者の方の話し相手
レクリエーションのサポート

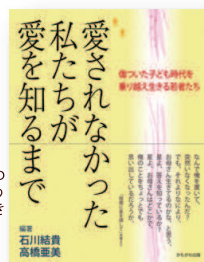
備 考 当日は動きやすい服装でご参加ください。

募集締切 ①12月12日(金) ②12月24日(水)

今月の

一冊

愛されなかった私たちが愛を知るまで
傷ついた子ども時代を乗り越え生きる若者たち



編著 石川結貴 高橋亜美
出版社/かもがわ出版

この本の著者の一人である高橋亜美さんは、虐待された環境で育った子どもや施設を退所した若者の支援をされていて、出会った彼らの声を詩の形で書き留めてこられました。

つらい現実と格闘してきた彼らから出た言葉は、『叩かれる痛みを不思議と感じなくなった』『おかしな言い方とかわれたことがない』『靴下を履いたことがない』『ふとんで寝たことがない』などで、一つひとつの言葉が胸に迫ってきます。子ども時代の深い傷や悲しみ、苦し

みがどれほど根深くその後の人生に被害や負担を及ぼすのかについても触れてあり、「安心して身を置ける場所、自分を大切に扱ってもらえる生活の積み重ねこそが不可欠である」と書かれてあります。

また、もう一人の著者であり、ジャーナリストの石川結貴さんは、親の過度な期待に押しつぶされそうな子どもたちの声を集めています。自分の意思とは無関係に親の期待をおしつけられ、演技をしている自分に疲れ果ててしまっている子どもたちも、心の深いところが壊れそうで、確かな愛を求めて苦しんでいることが伝わります。

心に傷を負った過去を振り返る若者の言葉には、実際に痛みを経験した人ならではのせつない叫び、親や大人に対する葛藤が詰まっていますが、愛されなかった過去に立ち向かい、生きていく彼らに手を差し伸べたり、励ましたり、支えてくれる誰かに出会うことでの変化も感じることができそうです。

児童虐待の相談件数は年々増加していて、平成24年度は66,701件にも及びます。この数字以上に心の奥深くに苦しみを抱え、また同時に、子育てに苦しんでいる方がいる、子育ての環境が厳しい、ということも考えられます。児童虐待の背景にある『孤独で自己中心的な子育て』から少しでも脱却できるように何ができるか、が問われている1冊だと感じました。(木原)

No. 93

炭鋳の記憶

左下の写真は、三菱上山田炭鋳のもので、中央には大きなボタ山がそびえ、手前には炭鋳で働く人とその家族が暮らしていた炭住(炭鋳住宅)が写っています。

写真提供者の石井春美さん(百々谷在住)は父親が三菱上山田炭鋳で仕事をされていて、小さい頃からこの炭住で暮らしていました。

近くには、「せんざい川」と呼ばれていた山田川が流れており、ウナギやドンボ、ドジョウなどを友達とエビジョウケ(竹で編んだザル)ですくっては、家に持ち帰って、食べていました。食糧が不足していた戦後間もない時には貴重な栄養源となっていたそうです。

また、石井さんが声をかけると、いつでも10人くらいの友達の家前に集まり、鬼遊びやめんこ、コマ、馬乗りなどみんなで賑やかに遊んでいました。

冬になると、積込場近くのガラ焼き場では、石炭を蒸したガラを作っていました。そのガラを七輪で焼き、家の中に持ち込んで、それを家族で囲んで暖を取っていたそうです。ガラはとても貴重なものでしたが、ガラ焼き場から出る煙は「目が痛くてけむりかかった」と石井さんは苦笑いを浮かべていました。

炭鋳で栄えていたとはいえず、炭住での生活はまた、隣近所で気軽に話ができ、「醤油が足りない」と言えばお茶碗一杯の醤油を持ってきてくれるなど、そこに住む人たちのつながりはとても強かったようです。貧しくとも生活がしやすいかと、当時を振り返られました。



1月の総合相談

法律相談は予約が必要です。先着順となっていますので、お早めにお申し込みください。

法律相談

とき
1月8日(木)
13:00~16:00
ところ
山田ふれあいハウス

とき
1月22日(木)
13:00~16:00
ところ
稲築住民センター

心配ごと相談

とき
1月14日(水)
13:00~15:00
ところ
稲築住民センター

とき
1月28日(水)
13:00~15:00
ところ
稲築住民センター

嘉麻市社会福祉協議会
☎0948-42-0751

炭鋳時代の懐かしい写真や思い出などを募集しています。嘉麻市社会福祉協議会までご連絡いただければ幸いです。
TEL 0948(42) 0751

嘉麻市社会福祉協議会では、下記のとおり評議員会を開催しました。

第34回評議員会 《開催日》平成26年10月22日(水)

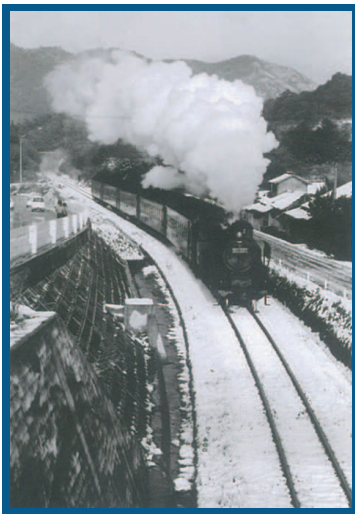
【議案第62号】 理事の補欠選任について

【議案第63号】 第一次補正予算について

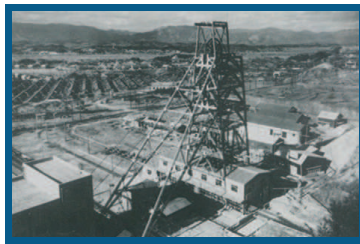


年始の挨拶にもご活用ください

嘉麻市社会福祉協議会では、4地区の昔懐かしい風景をポストカードにして販売しています(4枚1セット200円)。ふるさとを離れて暮らしている方へのお便りに、また年始の挨拶にもぜひご活用ください。



雪の日吉峠を走る蒸気機関車
(昭和45年)



東洋一といわれた三井山野
第一堅坑(昭和30年頃)



上山田線の廃線まで木造駅
舎で親しまれた臼井駅



昭和初期の大隈町の町並み

【販売先】

嘉麻市社会福祉協議会事務局
《嘉麻市岩崎1143番地3 稲築住民センター内》
電話：0948-42-0751

カッホー馬古屏
《嘉麻市牛隈882番地1》電話：0948-57-2222

おかむら葬祭 岡村会館

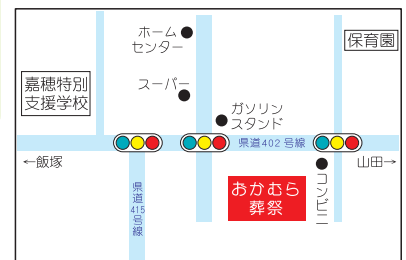
嘉麻市平1133
☎42-4420

指定葬祭場紹介

平素より地域の方々にご利用いただき、感謝申し上げます。

今後も地域に根付いた葬祭場として、微力ながらもお役に立てますよう、社員一同知識の向上に精進して参ります。

葬儀についてご不明な点などございましたら、お気軽にご来館、お問い合わせください。



葬儀申込み時に、「嘉麻市社会福祉協議会の指定をお願いします」とお伝えください。葬儀にかかる費用の一部について割引を受けることができます。

嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、おかむら葬祭 岡村会館を含め、市内に8カ所あります。

飛鳥会館 南斎場・・・☎(0120)42-2241
ひさつね会館・・・☎52-0758
セレモニーホールおおつか・・・☎52-1212
善光会館 稲築会場・・・☎83-5000

きど葬祭やまさ碓井斎場・・・☎62-4499
いすや会館・・・☎57-4444
かほ葬祭 あじさい会館・・・☎62-5566

みなさまの善意、心より厚くお礼申し上げます。



寄附・香典返し

10月1日～10月31日受付分

●香典返し

【漆生本村】

親族 上田 清 様

故 上田 まゆみ 様

親族 野見山 峰子 様

故 野見山 モト 様

【漆生中央】

親族 吉田 清子 様

故 吉田 好登 様

【稲築才田】

親族 松尾 厚盛 様

故 松尾 幸博 様

【西岩崎】

親族 金丸 嘉信 様

故 金丸 信子 様

【山野第一】

親族 野見山 篤 様

故 野見山 恒夫 様

【飯田】

親族 西野 美子 様

故 西野 邦彦 様

【尾浦第一】

親族 原田 久 様

故 大熊 ツタエ 様

【西川】

親族 石松 靖恵 様

故 矢野 ヤス子 様

【中央】

親族 江藤 晴子 様

故 江藤 覺士 様

【長野】

親族 有座 壽美子 様

故 有座 達義 様

【中益】

親族 伏貫 義彦 様

故 伏貫 スギエ 様

【下牛隈】

親族 大音 俊和 様

故 大音 静香 様

【大力】

親族 松岡 芳子 様

故 松岡 和好 様

【屏】

親族 粕井 紀彦 様

故 粕井 泰彦 様

【桑野】

親族 大里 健次 様

故 大里 品江 様

【飯塚市】

親族 高木 義紀 様

故 高木 キヨ子 様

●三十三回忌

【大橋】

親族 宮野 ミサヲ 様

故 宮野 正明 様

【一般寄附】

嘉穂の名水愛好者一同 様

飯塚市商工会 青年部 様

福岡県立嘉穂総合高等学校 様

嘉麻市立大隈城山校 様

【子育て用品】

漆生本村 匿 名 様

漆生本村 森 裕美 様

【アルミ缶】

漆生本村 匿 名 様

漆生南部 西田 幸子 様

漆生南部 岩田 勇治 様

東岩崎 松岡 光 様

漆生東 匿 名 様

枝坂 森 章枝 様

枝坂 久家奈緒美 様

百々谷 橋本 利根 様

百々谷 吉元 悦子 様

尾浦第一 山下 文江 様

中央 明石 睦則 様

中央 稲葉 幸作 様

猪之鼻 菊池 春政 様

中山田上 吉塚 戊 様

立石 矢野 千恵 様

石ヶ崎 渡邊美千代 様

九郎原 匿 名 様

稲築志耕館高校 様

鴨生第一行政区 様

稲築中学校2年生・保護者一同 様

石ヶ崎シニアクラブ 様

漆生中央 松田 茂 様

漆生中央 田中茶舗 様

漆生南部 西田 幸子 様

辻中籠 永水 清子 様

西郷 吉國富治雄 様

ゆうひが丘 福田フジ子 様

【古切手】

漆生中央 松田 茂 様

辻中籠 永水 清子 様

飯田 山口 菊江 様

JAふくおか嘉穂南部 グリーンセンター 様

平和舗道(株) 様

稲築志耕館高校 様

教育ナビゲーション(株) 様

古河 塚原 京子 様

あなたの会費が、社協の地域活動を支えています



会員として、次の方々にご加入いただきました。(敬称を省略させていただきます)

10月1日～10月31日受付分

〈漆生本村〉梶原慈子、松熊三和子

〈漆生中央〉田中英樹(二口)、松田茂、松田クニ子

〔口春〕篠崎年江、下原英子、福永美津子、日野玉枝、吉田むつみ、石井公江、宮田悦子、村田千恵子、永易早苗、山下栄子、福澤弥生、野見山純子、渡邊忠、永尾幸子、福島幸子、永水博子

〔才田日吉〕重松亜未

〔漆生東〕駕海ムツ子

〔緑ヶ丘〕糞田孝、富永昭信、緒方重春、秋丸幸男、小野國枝、佐藤俊子、清嶋トモエ、境シズエ、滝石哲男、勝本サダメ、大和大三、浅田一義、金川智裕

〔百々谷〕坂本崇栄

〔尾浦第一〕萩尾征男

〔西川〕花田清寿、花田勝美、中村操、松吉美和子

〔木城〕重松紀久子、水之江哲実、水之江文子、小山一識、小山寧子

〔蛭子〕安藤南

〔三菱第一〕野見山幸代

〔長野〕梶嶋周介、長野シマエ

〔中山田上〕高島正人、阿志賀京子、坂口繁、吉永政雄、吉野弘、井手政義、矢野陽子、皆川浩樹、松岡和枝、平塚弘一、中村嘉男、田中トヨコ、立山末春、高木康雄、浅田勉、岩下隆、河津マズミ

〔石ヶ崎〕高島良子、皆川アキエ

〔飯田〕中嶋香代子

〔下牛隈〕福澤都子、田中忠男、田中三根子

〔上牛隈〕小林一志

〔嘉穂才田〕古野洋弓

〔県外〕月俣シズエ



ふるさとへの手紙

No.106



兵庫県
西宮市在住
江藤 明さん
上山田出身

「故里を持たない人は不幸だ。」と、誰かが言った言葉である。同感である。故郷は忘れ難く懐かしいものである。偶然であるが最近嘉麻市大隈から来たという青年に逢った。話の中で彼が同郷の人だと知ると親しみを覚える。彼は急用があると帰る。短い時間であった。家に帰りこの話を女房にすると連れてくればよいのと言った。名も知らぬ見知らぬ青年を家に招く心境を考えると同郷の人を通して故里が懐かしいのだと思っただ。確かに同県人というだけで親しみを感じる。故里を遠く離れ住む人達共通のものではないかと思う。故里は心の拠所である。

私は、故里を離れて五十四年の歳月が流れ、平穩無事に暮らしている。最近私は人生八十歳まで生きて充分や、これから一年一年が儲けもんや長生きすれば儲けが増えていくと考えることにしている。生きていく間は健康で元気でいたい。その為に自己管理の大切さを痛感している。健康を維持するには、朝の太陽の光を浴びること。そして歩くこと。しかしそれを実行することは難しい。自分の都合のよい情報に頼り、適当な甘い運動になる。私は、西宮市に住んでいる。環境に恵まれた街だ。文教都市、甲子園球場、戎さん、絶好知名度は高いが西宮市は悩んでいる。市の知名度が低いと。関西では一番住みたい街に選ばれているが、この街にも悪面もある。車が多過ぎる。日曜祝日、甲子園球場開催日になると幹線道路は大渋滞。近年はカーナビの普及により裏道路まで渋滞している。甲子園周辺に住む住民は迷惑であるが、この賑わいがないと淋しい環境に順応して生きていくしかないかと思つて今である。今、政府は地方活性化を進めているが難問中の難問だ。若い人を定着させる安定した生活の場を築くことが必要。魅力ある市の活性は、市民が知恵を絞ってやるしかないの気力と思つた。嘉麻市の発展を願うと同時に皆様の御健勝を祈念申し上げます。

★ 編集後記 ★



子育て情報紙『こども目線♡かまっぴ』20号の編集会議をグループのみなさんと一緒に行いました。今までの号を振り返り、懐かしい気持ちになり、また新たな取り組みができればいいなと感じました。(きはら)



高石さんからは、障がいをもつ方の世界についても教えていただきました。それは、その場を温めてくれる、社会の風通しをよくしてくれるようなもので、とても心に残りました。(みぞくち)



稲築中学校のゴミ拾い活動に同行し、いつも何気なく通っている道沿いにも、こんなにたくさんのゴミが落ちているのかと驚きました。まずゴミの問題を意識することが大切のだと改めて感じました。(たけがわ)



今月の笑顔で、とても素敵な笑顔に出会うことができました。取材を通して、昔の遊びや当時の様子を聞かせていただき、子どもの頃のことが懐かしく思い出されました。(ながの)



サロン紹介では、今回山田・嘉穂地区のサロンを紹介しています。どの地区も、明るく元気に活動されています。気になるサロンがあれば、参加してみませんか？(かじ)



「炭鉱の記憶」の取材では、炭鉱での暮らしを知りました。まだまだ分からない事がありますが、今後も皆さんに分かりやすく伝えられるように頑張ろうと思ひます。(ふかがわ)

コラム交差点

「ボランティア活動を行って」 福岡県立稲築志耕館高等学校

一年次二組 瀧本 まゆ子
一度も体験したことがない介護の仕事や入浴、排泄の介助をする介護士の仕事の大変さを知ることができました。私が行った活動は、利用者の方に挨拶をして、話すことでした。私は緊張し、利用者の方が返事を返してくれるか心配で、挨拶しかできませんでした。しかし、何人かの利用者の方が話しかけてくださったことが大変嬉しく、私も少しずつ話ができるようになり、楽しく過ごすことができました。帰りに「また来たい時、見学において」と言ってくださり、機会があれば是非行ってみたいと思ひました。

一年次四組 嶋田 裕弥
私は、コンビニエンスストアの前で街頭募金の呼びかけをしました。初めてのことで、最初は不安でうまくいきか心配でした。そのためあまり大きな声を出すことができず、このまま募金活動が続くのかと思うとさらに不安が大きくなりました。しかし、一緒に活動している友達が見て、私も頑張らなければという思いが強くなり、徐々に声が出るようになりました。すると、募金に協力してくれる人も増えました。中には幼稚園児や小学生も募金をしてくれ、多くの人たちの協力に感謝し、役に立てたことでボランティア活動に参加してよかったと思ひました。

一年次四組 若下 瑠美
私は、障がいを持った人たちの作業をお手伝いするために障がい者支援施設に行きました。施設の方からお話を伺った時、「自分らしく生活する」という言葉が印象に残りました。施設の部屋を少し見せていただきました。部屋には自分の好きな歌手のポスターやお気に入りのシールが好きなところに貼られ、1人ひとりが自分らしく生活されている様子を知ることができました。

また、作業場では皆さんが明るく本当に楽しそうに仕事をされている様子を見ることができました。お手伝いに行った私たちの方が、いろいろなお話を教えていただいた一日になりました。